

**総合的な学習の時間
(福祉体験)**

二宮町立二宮中学校

単元(題材)目標

- ・映像と歌とパフォーマンスそして手話ダンスレクチャーの体験を通じて、共に生きることの大切さや福祉に対する理解と関心を高める。

(1) 実施時期

9月下旬

(2) 対象(学年等・人数)

全学年 447名

(3) 指導者(教諭・外部講師等)

外部講師：HANDSIGN (ハンドサイン：手話を取り入れた日本の男性パフォーマンスアート集団、ダンスグループ。)

(4) 実施内容

- ・福祉講演会
演題：「エンターテインメントの角度から手話・ダンスを身近なものに」
- ・講演会の中盤で「星物語ソング」の曲に合わせて手話ダンスのレクチャーを全校生徒で受けた。

(5) 成果

- ・HANDSIGNは、2005年に日本の神奈川県で結成されたブレイクダンスに手話を取り入れたまったく新しいジャンルのパフォーマンス集団である。子ども達は、見よう見まねで彼らのダンスを真似するうちに、自然と手話を身につけていった。
また、彼らが海外でダンス支援活動を行った時の映像を見ることにより、たとえ言葉が通じなくともダンスが心をつなぐことも学んだ。さらに、子ども達にとって興味対象であるダンスと教育的視点から見た手話を融合した本講演会での体験を通じて、子ども達は共に生きることの大切さや相手を思いやることの大切さについても、確かな学びへと高めていった。